投 稿 規 定

2002年12月12日 改定
2009年 9 月 4 日 改定
2011年 1 月14日 改定
2014年 9 月 1 日 改定
2015年 9 月19日 改定
2016年 4 月28日 改定
2017年 8 月26日 改定
2019年 1 月11日 改定
2022年 4 月12日 改定

1. 投稿の資格・審査

1）著者、共著者は日本末梢神経学会員に限らない。
2）論文の内容は末梢神経に関連するものを広く採用する。
3）個人情報保護と医学研究に関する指針を遵守する。
　a）患者の同意書が必要とされる場合は（「個人情報・医学研究に関する指針確認用紙」を参照）、「患者同意書」を患者から取得して提出する。原本は必ず手元で保管すること。複数の患者・家族からの同意書が必要な場合は、全員から取得すること。また、意識障害や認知症などにより当該個人より同意書を得ることが困難な場合は、適切な代諾者（配偶者、親、子、後見人など）の同意でもよい。本人が死亡している場合は遺族の同意書を得ること。判断が困難な場合は編集委員会へ連絡をして確認すること。
　b）「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」などにより該当する、施設における倫理委員会の承認が必要とされる研究については、倫理委員会で承認済みであること及びその承認番号と承認日を論文（方法）に記載する。自施設内に倫理委員会が設置されていない場合は、設置されている他施設に審査を依頼し、承認を得る。
　c）自施設内での後ろ向き疫学あるいは臨床観察研究でも倫理委員会承認が必要である。（厚生労働省疫学研究に関する倫理指針」についてのQ&A　Q1-3（1）を参照のこと）。
　d）投稿から出版までの過程で論文に疑義が生じた場合は、編集委員会から筆頭著者あるいは当該施設へ問合せることがある。
4）投稿論文は国内外の他雑誌に掲載されていないもの、あるいは投稿中でない論文に限る。
　なお，英文の原稿も受け付ける。但し、英文不備の場合、審査なしで返却することもある。
5）投稿論文の採否は複数の査読者による審査の後、編集委員会にて決定する。
6）論文審査料は無料とする。
7）論文掲載料は無料であり、写真は原則白黒とする。ただし、規定ページ数超過や、組写真による附図・表の超過の場合、あるいはカラー写真を希望する場合には所定の額（1ページ50,000円）を徴収する。
8）全ての論文の著作権は日本末梢神経学会に帰属する。
9）記載された著作物について、転載その他の方法による利用をする場合は編集委員会に許諾申請をすること。著者本人および非営利目的の場合は無料とし、それ以外は図表1点あたり一律50,000円とする。

2. 論文の構成

1）論文の**要旨**とそれに添った**英文抄録**を字数制限内（下記）で必ず書くこと。
2）本文の構成は原著では、**はじめに**（**目的**を含む）、**対象（材料）・方法**、**結果**、**考察**とすること。必要であれば考察の最後に**結論**を入れてもよい。症例報告では、はじめに、症例、考察とすること。
3）文献、図・表は個数制限（下記）があるので注意すること。
4）制限事項。

要　旨	本　文	文　献	図・表*	英文抄録
原著・総説 300字	8,000字（400字詰原稿用紙20枚）	30個	8個まで	300語
症例報告　300字	6,000字（400字詰原稿用紙15枚）	20個	6個まで	200語

*図表は本文原稿枚数に含み、各々1枚分（400字詰原稿用紙）とみなす。

Presented by Medical*Online

3. 執筆要項

1）投稿論文は下記事務局へメール添付にて送付すること。 jpns-edit@shunkosha.com
日本末梢神経学会事務局　編集委員長　宛
【事務局：〒169-0072　東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル（株）春恒社内】

2）論文は共著者全員の承諾を得た上で、投稿すること。
投稿承諾書【http://www.jpns.jp/document/kyodaku.pdf】に共著者全員の所属氏名を明記し、責任著者が署名捺印の上、原稿と一緒に提出ください（PDFでも可）。

3）投稿する著者全員は、会員、非会員を問わず論文内容に関係する企業・組織や団体との投稿時から遡って3年間のCOI状態を「自己申告によるCOI報告書」（様式2）に記載、署名捺印の上、提出ください（PDFでも可）。「倫理利益相反（COI）についての詳細は
【http://www.jpns.jp/pdf/coi_yoshiki02.pdf】をご覧ください。

4）引用文献は発表済みの論文に限り、投稿中の論文、学会抄録は含めない。印刷中のものはその旨を記す（E-mail等での掲載証明を添付し、可能な場合予定掲載号を記する）。

5）原稿はA4版で、フォントが11ポイント以上、1ページ2,000字以内にし、十分な余白、行間をとること。

6）表紙には表題、著者名、所属、連絡先を和英併記し、キーワード（5つまで）は和英両方を掲げる。

7）専門用語以外は当用漢字、現代かなづかいを用い、句読点を正確に書く。

8）外国語の固有名詞（人名、地名）は原語のまま用いる。すでに、日本語化して久しいものはなるべくカタカナとする。商標薬品名R、その他の固有名詞の頭文字は大文字とするが、文中の外国語単語（病名、その他）の頭文字は、ドイツ語名詞および文頭の場合を除きすべて小文字とする。

9）数字は算用数字を用い、度量衡単位はCGS単位で、m，cm，mm，cm^2，l，dl，ml，kg，g，ngなどとする。数字と単位の間は半角スペースを入れること。

10）試薬、実験機器については会社名、会社所在地（本社）、国名を記載する。

11）図・表には必ず表題（必要に応じて説明も）をつける。また、組織標本には染色法と必要に応じてscale barをつける。

12）写真は原寸大で印刷出来る大きさで、かつ鮮明なものとし、原寸大の大きさは21 cm × 14 cmを限度とする。写真は原則として白黒とする。

13）図・表などの転載はその旨を明記し、許諾については著者自身で行うこと。

14）文献は本文に用いられたもののみをあげ、引用番号は本文の引用順とし，本文中の引用個所には必ず肩番号を付す。また、文献は下記のように記載し、欧文雑誌の略名は最近のIndex Medicusに従う。

15）引用文献の著者氏名は、3名以内の場合は全員を書き、4名以上の場合は3名連記の上、ほかあるいはet al.とする。

4. 引用文献例

1）Michalsen A, Bock S, Lüdtke R, et al. Effects of traditional cupping therapy in patients with carpal tunnel syndrome: a randomized controlled trial. *J Pain* 2009; 10: 601-608.

2）Amirjani N, Ashworth NL, Watt MJ, et al. Corticosteroid iontophoresis to treat carpal tunnel syndrome: a double-blind randomized controlled trial. *Muscle Nerve* 2009; 39: 627-633.

3）Leavitt JA, Younge BR. Diseases of the third, fourth, and sixth cranial nerves. *In Peripheral neuropathy*, 4th ed, ed by Dyck PJ, Thomas PK. vol 2, Diseases of cranial nerves, Elsevier Saunders, Philadelphia, 2005, pp 1191-1206.

4）平田　仁．手根管症候群と肘部管症候群　病態，診断，治療．*臨床神経*　2007; 47: 761-765.

5）寺崎久泰，安東由喜雄．腫瘤形成性局所アミロイドーシス．アミロイドーシスの基礎と臨床，池田修一編，金原出版，東京，2005，pp 253-257.

6）Mucha C，平澤泰介．外傷性総腓骨神経不全麻痺に対する電気刺激療法の検討．*Peripheral Nerve 末梢神経*　2009; 20: 7-16.

Presented by Medical*Online

学術集会提出用の学会録（proceedings）の書き方（一般演題用）

（2011 年改訂）
（2014 年改訂）
（2015 年改訂）
（2017 年改訂）
（2021 年改訂）

― 学会最終日までに提出 ―

1）要約は必要ありません。
2）本文の構成は**目的**、**対象・方法**、**結果**、**考察**、（**結論**あるいは**まとめ**）の順に 1000～1500 字以内にまとめてください。
症例報告の場合、**はじめに**、**症例**、**考察**、（**結論**あるいは**まとめ**）としてください。
3）文献は必要なものに限り 6 個以内でお願いします。
4）必要な場合、図・表を入れても構いませんが 1 個以内にまとめてください。
5）原稿には著者名の和英併記と所属名、住所を入れてください。原稿データは春恒社の登録システム【https://www.sasj2.net/MAS/jpns/】までお送りください。（提出、修正等に関する問い合わせ先： jpns-edit@shunkosha.com）
6）図・表には必ず表題をつけてください。また、組織標本には染色法と必要に応じて scale bar をつけてください。写真は原寸大で印刷出来る大きさで、かつ鮮明なものとしてください。写真は原則白黒でお願いします。
7）図・表などの転載は、その旨を明記し、許諾については著者自身で行ってください。
8）文献は本文に用いられたもののみをあげ、引用番号は本文の引用順とし、本文中の引用個所には必ず肩番号をつけてください。また、文献には学会抄録は含まず、下記のように記載してください。学会発表の抄録、投稿中の論文などは引用文献に含めないでください。
9）引用文献の著者氏名は、3 名以内の場合は全員を書き、4 名以上の場合は 3 名連記の上、「ほか」、あるいは「*et al.*」としてください。
10）原稿は本文、図表、文献を含めて 1 ページに収めることを原則とします。規定に添わない場合、修正が求められることがあります。掲載は無料ですが、規定ページ数超過分、カラー印刷については所定の額を徴収します。また、希望により学会抄録をそのまま転用することも可能とします。

引用文献例

1）Michalsen A, Bock S, Lüdtke R, *et al*. Effects of traditional cupping therapy in patients with carpal tunnel syndrome: a randomized controlled trial. *J Pain* 2009; 10: 601-608.
2）Amirjani N, Ashworth NL, Watt M J, *et al*. Corticosteroid iontophoresis to treat carpal tunnel syndrome: a double-blind randomized controlled trial. *Muscle Nerve* 2009; 39: 627-633.
3）Leavitt JA, Younge BR. Diseases of the third, fourth, and sixth cranial nerves. In *Peripheral neuropathy*, 4th ed,ed by Dyck PJ, Thomas PK. Vol2, Diseases of cranial nerves, Elsevier Saunders, Philadelphia, 2005, pp1191-1206.
4）平田　仁．手根管症候群と肘部管症候群　病態，診断，治療．*臨床神経*　2007; 47: 761-765.
5）寺崎久泰，安東由喜雄．腫瘤形成性局所アミロイドーシス．アミロイドーシスの基礎と臨床，池田修一編，金原出版，東京，2005，pp253-257.
6）Mucha C，平澤泰介．外傷性総腓骨神経不全麻痺に対する電気刺激療法の検討．*Peripheral Nerve 末梢神経*　2009; 20: 7-16.

Presented by Medical*Online

学術集会提出用の学会録（proceedings）の書き方
（企画講演用：特別講演・教育講演・招待講演・シンポジウム・ランチョンセミナー・イブニングセミナーなど）

（2011 年改訂）
（2014 年改訂）
（2015 年改訂）
（2017 年改訂）
（2021 年改訂）

―下記の要領でまとめてお送りください（学会最終日までに提出）―

1）要旨は必ずしも必要ありませんが、テキストが長い場合 500 字以内の要旨をご用意ください。タイトル、名前、所属については英文表記を記載してください。
2）本文の構成は**はじめに**、**目的**、**対象・方法**、**結果**、**考察**、（**結論**あるいは**まとめ**）を原則としますが、講演内容に応じて総説的に項目を挙げていただいて結構です。本文は 8000 字以内でお願いします。
3）文献は 30 個以内でお願いします。
4）図・表は合わせて 6 個以内でお願いします。
5）原稿には和英併記で表題、著者名、所属名、住所、キーワード（5 つまで）を入れてください。原稿データは春恒社の登録システム【https://www.sasj2.net/MAS/jpns/】までお送りください。（提出、修正等に関する問い合わせ先： jpns-edit@shunkosha.com）
6）図・表には必ず表題（必要に応じて簡単な説明も）をつけて下さい。また、組織標本には染色法と必要に応じて scale bar をつけてください。写真は原寸大で印刷出来る大きさで、かつ鮮明なものとして下さい。原則として写真は白黒でお願いします。
7）図・表などの転載は、その旨を明記し、許諾については著者自身で行ってください。
8）文献は本文に用いられたもののみをあげ、引用番号は本文の引用順とし、本文中の引用個所には必ず肩番号をつけてください。また、文献には学会抄録は含まず、下記のように記載してください。学会発表の抄録や投稿中の論文などは引用しないでください。
9）引用文献の著者氏名は、3 名以内の場合は全員を書き、4 名以上の場合は 3 名連記の上、「ほか」、あるいは「*et al.*」としてください。
10）原稿が上記規定に添わない場合、修正が求められることがあります。掲載は無料ですが、規定ページ数超過分、カラー印刷については所定の額を徴収します。また、希望により学会抄録をそのまま転用することも可能とします。

引用文献例

1）Michalsen A, Bock S, Lüdtke R, *et al*. Effects of traditional cupping therapy in patients with carpal tunnel syndrome: a randomized controlled trial. *J Pain* 2009; 10: 601-608.
2）Amirjani N, Ashworth NL, Watt M J, *et al*. Corticosteroid iontophoresis to treat carpal tunnel syndrome: a double-blind randomized controlled trial. *Muscle Nerve* 2009; 39: 627-633.
3）Leavitt JA, Younge BR. Diseases of the third, fourth, and sixth cranial nerves. In *Peripheral neuropathy*, 4th ed,ed by Dyck PJ, Thomas PK. Vol2, Diseases of cranial nerves, Elsevier Saunders, Philadelphia, 2005, pp1191-1206.
4）平田　仁．手根管症候群と肘部管症候群　病態，診断，治療．*臨床神経*　2007; 47: 761-765.
5）寺崎久泰，安東由喜雄．腫瘤形成性局所アミロイドーシス．アミロイドーシスの基礎と臨床，池田修一編，金原出版，東京，2005，pp253-257.
6）Mucha C，平澤泰介．外傷性総腓骨神経不全麻痺に対する電気刺激療法の検討．*Peripheral Nerve 末梢神経* 2009; 20: 7-16.

Presented by Medical*Online

《誌 名 省 略・凡 例》

—— List of Journals Indexed in Idex Medicus, 1987 ——

A Acta Med Scand, Acta Med Scand [Suppl], Acta Neurochir (Wien), Acta Neurol (Napoli), Acta Neurol Belg, Acta Neurol Psychiatr Belg, Acta Neurol Scand, Acta Neurol Scand [Suppl], Acta Neuropathol (Berl), Acta Ophthalmol (Copenh), Acta Orthop Scand, Acta Otolaryngol (Stockh), Acta Paediatr Scand, Acta Pharmacol Toxicol (Copenh), Acta Physiol Scand, Acta Physiol Scand [Suppl], Acta Radiol [Diagn] (Stockh), Adv Neurol, Am J Neuroradiol, Am Heart J, Am J Anat, Am J Clin Pathol, Am J Dis Child, Am J Gastoenterol, Am J Hum Genet, Am J Med, Am J Med Sci, Am J Ophthalmol, Am J Otol, Am J Otolaryngol, Am J Pathol, Am J Phys Med, Am J Psychiatry, Am J Psychol, Am J Surg, Anaesthesia, Anat Anz, Anat Rec, Ann Hum Biol, Ann Hum Genet, Ann Intern Med, Ann Méd Psychol (Paris), Ann Neurol, Ann NY Acad Sci, Ann Otol Rhinol Laryngol, Ann Radiol, Ann Rev Neurosci, Appl Neurophysiol, Arch Dermatol, Arch Dis Child, Arch Intern Med, Arch Neurol, Arch Neurol Psychiatry, Arch Ophthalmol, Arch Otolaryngol, Arch Otorhinolaryngol, Arch Pathol Lab Med, Arch Phys Med Rehabil, Arch Psychiatr Nervenkr, Arch Surg, Aust NZ J Psychiatry

B Beitr Klin Neurol Psychiatr, Berl Klin Wochenschr, Biochem J, Biochim Biophys Acta, Brain, Brain Res, Br Heat J, Br J Med, Br J Ophthalmol, Br J Psychiatry, Br J Psychol, Br J Radiol, Br Med Bull, Br Med J, Bull Johns Hopkins Hosp, Bull Los Angeles Neurol Soc, Bull Mém Soc Biol Paris, Bull NY Acad Med

C CR Acad Sci [III], Can J Neurol Sci, Can Med Assoc J, Clin Endocrinol (Oxf), Clin Neurol (Tokyo), Clin Neurol Neurosurg, Clin Neuropathol, Clin Neurosurg, Clin Pediatr (Phila), Clin Pharmacol Ther, Comput Radiol, Confin Neurol, Cortex

D Dev Med Child Neurol, Diabetes, Dis Nerv Syst, Dtsch Med Wochenschr, Dtsch Z Nervenheilkd

E Electroencephalogr Clin Neurophysiol, Electromyogr Clin Neurophysiol, Encéphale, Endocrinology, Epilepsia, Eur Arch Psychiatry Neurol Sci Eur Neurol, Exp Brain Res, Excerpta Med Int Congr Ser, Exp Neurol

F Fed Proc, Folia Psychiatr Neurol Jpn, Fortschr Neurol Psychiatr

G Gastroenterlogy, Genetics, Geriatrics

H Headache, Histochem J Hum Biol, Hum Genet, Hum Hered, Hum Neurobiol, Humangenetik

I Immunology, Int J Neurol, Int J Neurosci, Int Rev Neurobiol

J JAMA, Jpn J Med, Jpn J Med Johns Hopkins Med, J Anaq, J Appl Physiol, J Auton Nerv Syst, J Biol Chem, J Bone Joint Surg [Br], J Cell Biol, J Chr Dis, J Clin Endocrinol Metab, J Clin Invest, J Clin Pathol, J Clin Pathol [Suppl], J Comp Neurol, J Comput Assist Tomogr, J Exp Biol, J Exp Med, J Gerontol, J Hirnforsch, J Histochem Cytochem, J Infect Dis, J Lab Clin Med, J Laryngol Otol, J Mol Biol, J Nerv Ment Dis, J Neurobiol, J Neurochem, J Neurocytol, J Neurol, J Neurol Neurosurg Psychiatry, J Neurol Sci, J Neuroimmunol, J Neuropathol Exp Neurol, J Neurophysiol, J Neurosurg, J Nucl Med, J Pathol, J Pediatr, J Physiol (Lond), J Physiol (Paris), J Neuroradiol, J Psychosom Res, J Radiol, J Speech Hear Disord, J Speech Hear Res

K Klin Wochenschr

L Lancet, Lang Speech Laryngol Rhinol Otol (Stuttg), Life Sci

M Mayo Clin Proc, Med Clin North Am, Med Hist, Med J Aust, Medicine (Baltimore), Med Welt, Metabolism, Muscle Nerve, Mol Biol (Mosk), Mol Biol Biochem Biophys, Monatschr Kinderheilkd, Münch Med Wochenschr

N N Engl J Med, Nature, Nervenarzt, Neurol Centralbl, Neurol Med (Tokyo), Neurol Med Chir (Tokyo), Neurology, Neuropathol Appl Neurobiol, Neuropbdiatrics, Neuropsychologia, Neuroradiology, Neurosci Lett, Neuroscience, Neurosurgery, Neurosurg Rev, No to Shinkei, Nouv Iconogr Salpetriere, NY State J Med, NZ Med J

P Pain, Pediatrics, Pflügers Arch, Pharmacol Rev, Presse Méd Proc Natl Acad Sci USA, Proc R Soc Lond [Biol], Proc R Soc Med, Prog Brain Res, Psychol Med, Public Health Rep

Q Q J Med

R Radiology, Res Publ Assoc Res Nerv Ment Dis, Rev Neurol (Paris)

S Schweiz Arch Neurol Psychiatr, Schweiz Med Wochenschr, Science, Scott Med J, Sem Hôp Paris, Semin Neurol, Stroke, Surg Gynecol Obstet, Surg Neurol

T Trans Am Neurol Assoc, Trans Am Ophthalmol Soc, Trans Assoc Am Physicians, Trans Ophthalmol Soc UK

V Virchows Arch [A], Virchows Arch [B], Virology

W Wien Klin Wochenschr, Wien Med Wochenschr, Wien Z Nervenheilkd

Z Z Gesamte Inn Med, Z Gesemte Neurol Psychiatr, Z Kinderheilkd, Zentralbl Gesamte Neurol Psychiatr, Zenralbl Neurochir

Presented by Medical*Online